

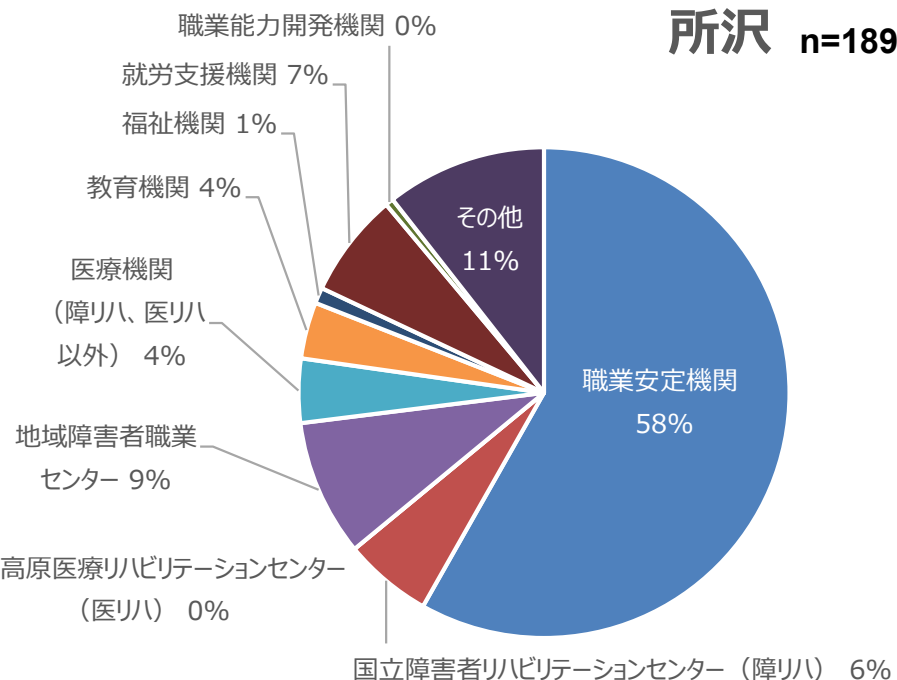
特別支援室資料（データ関連）

資料構成

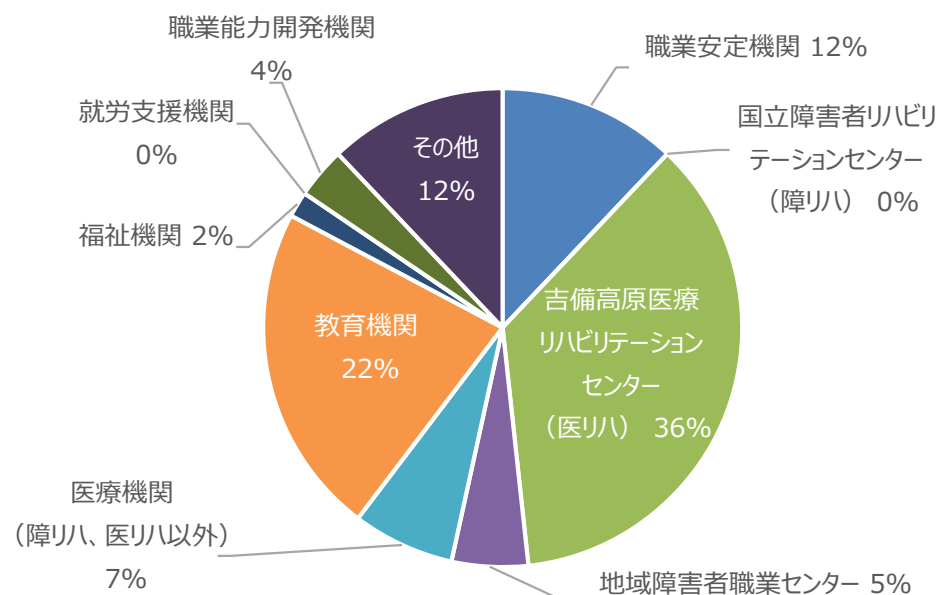
- 機構営障害者職業訓練校への来校経路
（資料提供：（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- 障害者訓練を担当する職業訓練指導員等に関する状況について
（資料出典：職業能力開発総合大学校基盤整備センター
「障害者訓練を担当する職業訓練指導員等に関する調査研究報告書」）
- 職業大での障害者支援等研修について
（資料提供：深江構成員）

機構営障害者職業訓練校への来校経路

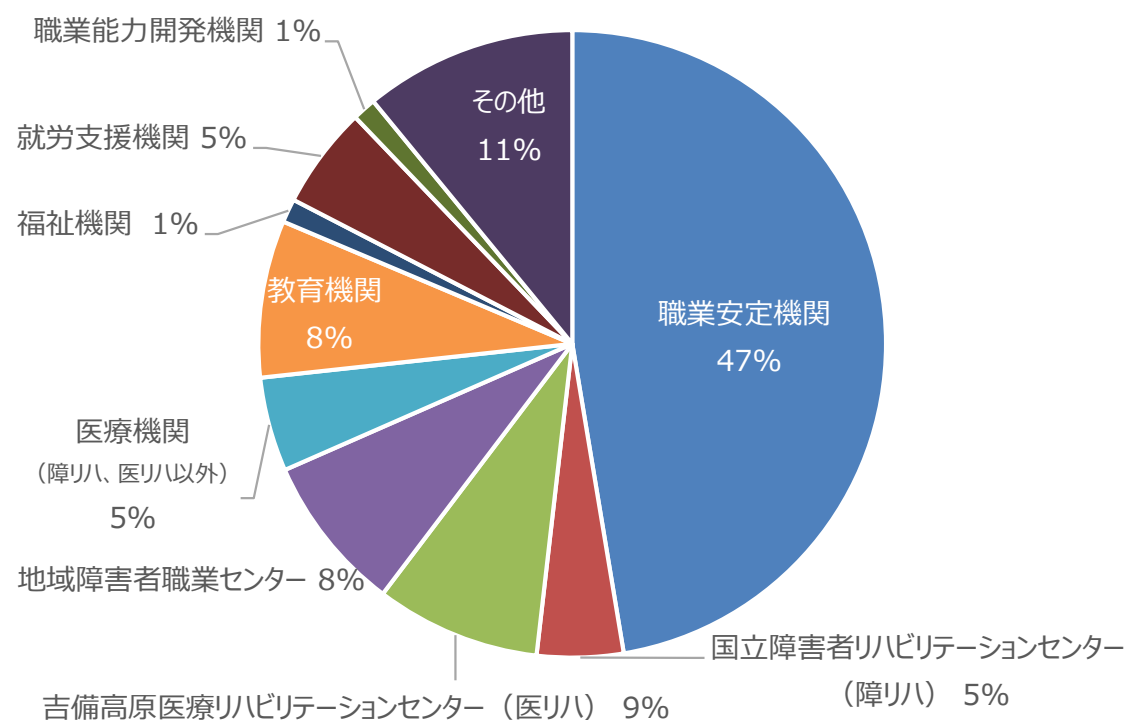
所沢 n=189



吉備 n=58



合計 n=247

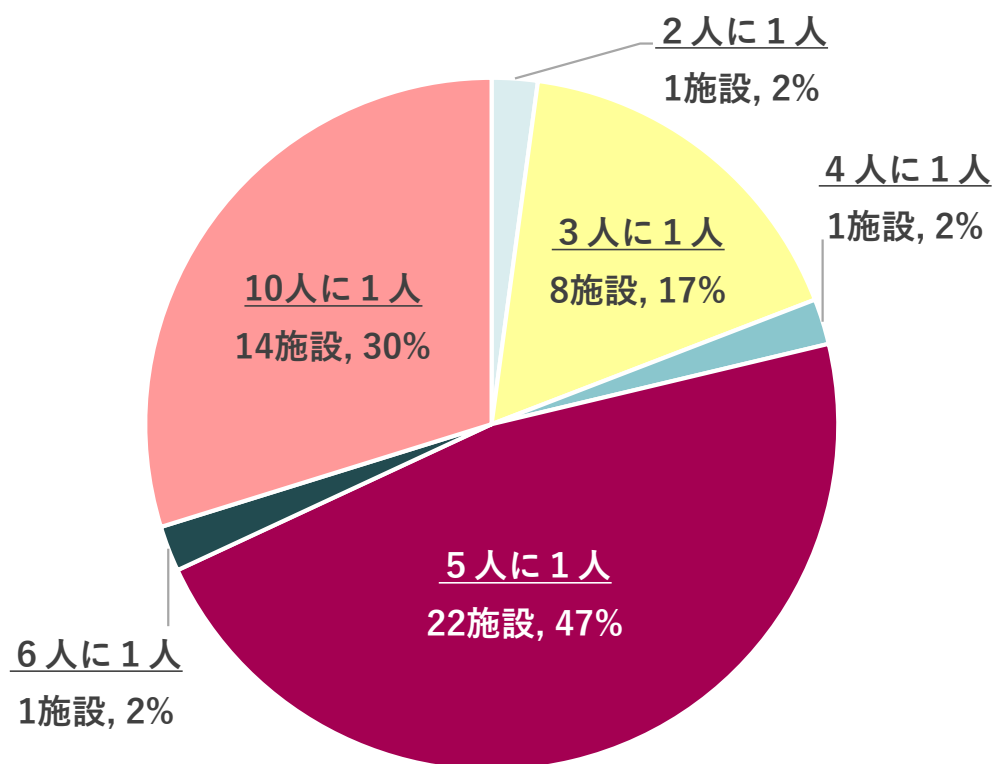


* 集計対象は、令和5年4月から令和7年1月の期間中に訓練を開始した者。

障害者訓練を担当する職業訓練指導員等に関する状況について

- 障害者訓練における指導員について、指導員1人当たり受講生何人が望ましいかという問に対し、「5人に1人」との回答が47%を占めており最多。次いで現行の規定と同数の「10人に1人」が30%、「3人に1人」が17%となっている。
- 「10人に1人」が望ましいと回答した施設においても、身体障害者向け以外のコースについては、より手厚い配置が望ましいとの回答が多くなっている。

障害者訓練において望ましい指導員数



身体障害者向け以外のコースにおける望ましい指導員数

訓練コースの種類	指導員の配置人数	回答施設数
訓練コースの種類を問わず、現行通り10人に1人の配置が望ましい		2施設
精神・発達・知的障害者向けのコース及び身体障害者向けでも当該障害者が混在する場合	2～3人に1人	1施設
精神・発達・知的障害者向けのコース	5人に1人	2施設
精神・発達障害者向けコース	3人に1人	1施設
	5人に1人	2施設
精神・知的障害者向けコース	5人に1人	1施設
精神障害者向けコース	3人に1人	1施設
	5人に1人	2施設
知的障害者向けコース	3人に1人	1施設
	5人に1人	1施設

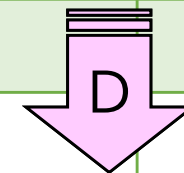
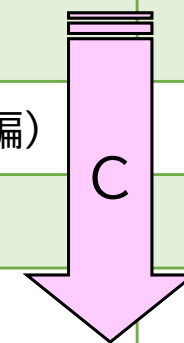
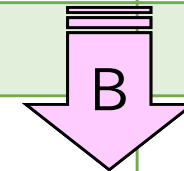
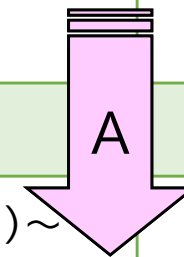
職業大での 障害者支援等研修 について

職業能力開発総合大学校

深江 裕忠

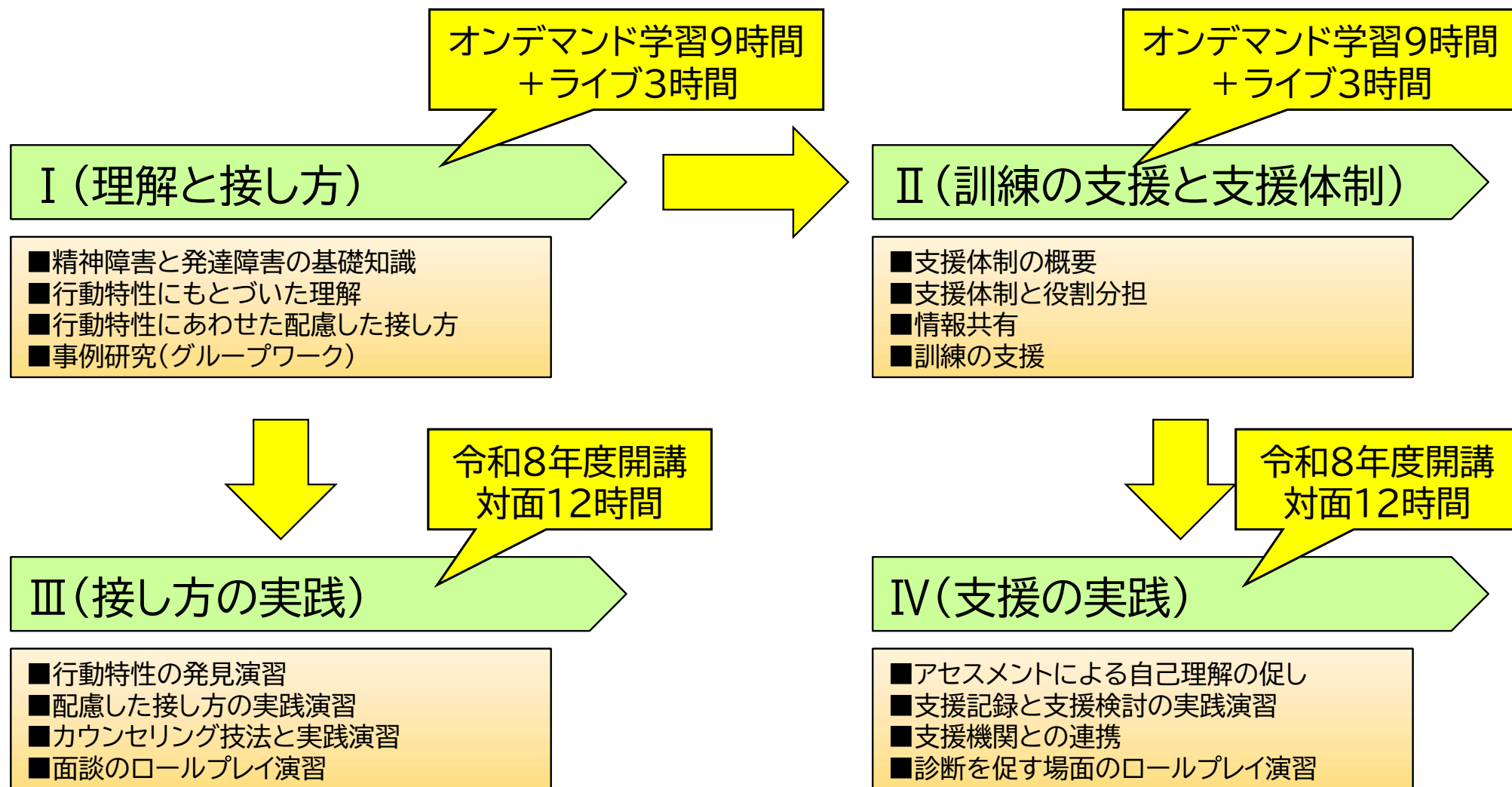
令和6年度 職業大での障害者支援等研修

コース名	実施回数	受講者数
オンラインで学ぶ障害者の就労支援の基礎知識	8	20
障害者職業訓練コーディネーター研修～初級編(障害者職業訓練での支援)～	1	48
障害者職業訓練コーディネーター研修～中級編(支援ツールの活用)～	1	31
障害者職業訓練コーディネーター研修～上級編(特性を考慮した実施機関へのアドバイス)～	1	14
精神・発達障害者支援のためのSST(基礎編)	2	31
精神・発達障害者支援のためのSST(応用編)	1	12
一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応(理解と接し方編)	6	92
一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応(訓練の支援と支援体制編)	3	30
一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応(メンタルの支援編)	3	27
一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応(就職活動の支援編)	3	18
精神・発達障害と似た行動をする訓練生への支援Ⅰ(理解と接し方)	12	104
精神・発達障害と似た行動をする訓練生への支援Ⅱ(訓練の支援と支援体制編)	11	81



※実施回数と受講者数は年度末までの見込み

精神・発達障害と似た行動をする訓練生への支援



オンライン化をきっかけに再構築し、受講者も参加しやすくしている